

電子商取引参入目指す中小向け



楽天や岐阜
信金と連携

インターン生を活用

NPO法人「G-net」(岐阜市)は楽天、岐阜信用金庫と連携し、インターネットショッピングなど電子商取引(EC)事業への参入や展開を目指す地域の中小企業向けに、長期インターンシップに参加する大学生の人材を活用した支援プログラムを始める。

(久松孝志)

G-netが人材支援

G-netの担当者 戦力として働く経験によると、中小企業は 積む。人材集めに苦労EC事業参入に興味がある中小企業にとってあっても、ノウハウには新しい発想を得る機会が不足する。加えて人手不足が要因で手が回らない社も多く、事業化に至らないケースも多いという。G-netが進める6カ月以上の長期インターンシップでは、大学生は経営者の下で責任ある業務を任せられ、ネットショップ支援に乗り出すチラシを示すG-netの担当者やインターン生ら。岐阜市吉野町

EC支援は、各企業のインターン生が楽天のコンサルタントから直接、研修などを通じて事業立ち上げのノウハウを学んで事業化を目指す仕組み。楽天がEC人材育成プログラ

ムをNPOと組んで行うのは初。新規立ち上げの場合、インターン生が顧客ニーズや市場調査を行ってサイトを構築する。すでにショップを持つ場合もコンセプトの再構築などを行い、売り上げ増を目指す。いずれも楽天への出店、G-netの8(263)2162。長期インターンシップ導入が必要となる。担当者は「EC事業を定着させるための環境づくりに、意欲旺盛で新しい発想を持つ大学生が関わる。活用を考えてほしい」と話している。問い合わせはG-net、電話05